

第13回 平取ダム地域文化保全対策検討会

＜平成23年度 調査成果概況＞

◆3- (1) 生活文化現地調査：川洲畠現地調査

2012 (H24) -07-27
アイヌ文化環境保全調査室

概況・要点の説明とその資料

1) 現地調査

- ・資料E-① H23年度 川洲畠試験畠位置図
- ・資料E-② 川洲畠試験畠での整備・播種作業に係る作業工程
- ・資料E-③ 川洲畠試験結果のとりまとめ

2) モニタリング調査

- ・資料E-④ モニタリング・管理作業の記録のまとめ
- ・資料E-⑤ 川洲畠における作業カレンダー

3) 食文化再現調査

- ・資料E-⑥ 試食会開催一覧
- ・資料E-⑦ 食文化試行レシピ集

4) 調査結果とりまとめ

- ・資料E-⑧ 「川洲畠」再現マニュアルと試行のまとめ
- ・資料E-⑨ 「川洲畠」再現マニュアルと試行のまとめ【目次】
- ・資料E-⑩ 「川洲畠」再現マニュアルと試行のまとめ【一部抜粋】
- まとめ ・資料E-⑪

1) 現地調査

資料E-①

◆H23年度、川洲畑試験畠位置図



紫雲古津試験畠

豊糠試験畠

二風谷雜穀畠



1) 現地調査

◆川洲畑試験畠での整備・播種作業に係る作業工程



事前整備

播種作業に伴う儀礼

耕地・整備

畝きり(筋つけ)

播種・覆土

プレート付け

ネット張り

2か所の試験畠での播種作業に係る一連の工程を整理

各工程の詳細説明

- 作付面積を計測する
- 耕したための準備作業
- 5/9に作った筋をさらに筋で削る
- 筋の中央に筋をつける
- 草を寄せた筋間に立つ
- 筋ごとに種名のプレートを取り付ける
- 草の上部に防鳥ネットの穴空き防止の布を付ける
- 作付面積を計測し、木杭を打つ
- 儀礼のための準備作業
- 5/6に作った筋の土をさらに削く
- 筋の中央に筋をつける
- 筋をつけた筋をまとぐ
- 筋ごとに種名のプレートを取り付ける
- 作付面積より1m外側に木杭を打つ

各工程のアドバイス

- 耕ごとに筋を行つ（筋の内側に1m間隔）
- 協力者による儀礼
- 筋の草の根を切る。（根をたたくよう）
- 筋の草の根を切る。後方に底みながら筋を付ける
- 筋を手に持ち、筋を動かしながら一括で種を撒く
- 試験種名：種類：アイヌ語（和名）
- 筋を手に持ち、筋を動かしながら一括で種を撒く
- 筋を撒いた後、筋の根の土を草刈りで撒の上に軽くかける
- 防鳥ネットを全体に張る
- 面積全体の土を撒り起こす
- 協力者による儀礼
- 5/6に作った筋の土をさらに削く
- 筋を手に持ち、筋を動かしながら筋を削く
- 筋を撒きながら筋の土をかきこむ
- 試験種名：種類：アイヌ語（和名）
- 筋を撒きながら筋の土をかきこむ
- かけた土を軽く撒く筋（根）おさえ込むと種が浮かない。理屈で頭に頭を当たると筋が浮くくなるよそうです。（根これまでの調査からそれをその種の土質などで土をかきこむ方が良い場合もあるようです）
- 4つの角が折れないようにしっかりとロープで引張る
- 防鳥ネットを全体に張る調査用紙を2か所に設置する
- お日さん（根：日当たり）の関係を考えてやらなきゃならない。黄の悪いのは、向う（根：沙流川の上流側）。黄の高い物はこっち（根：沙流川の下流側）だわ。
- 発芽する段階にはちょっとよくて雨降った方が確実いいんだ。あと、発芽してからは、あまり雨淋ぐくないんだよ。
- 筋削きシシケブ（イナキビ）、ムンチロ（アワ）、ソンバ（ソイ）
●点詰きマントトキ（アズキ）
- アズキは3粒以上入れない方がいい。3粒入れても発芽、最後に撒く時に3本とも立てたら大だだよ。大体2本ぐらいでいい。
- 開闢は、足軽よりもちょっと筋の10cmが15cmでいい。

各工程の流れ（プログラム）について、4-地域文化保全対策調査を、播種作業に伴う儀礼の整理順序については、

撮影者（カメラ：名野、ビデオ：木村、IC：井澤）

1) 現地調査

資料E-③

◆川洲畠試験結果のとりまとめ



試験畠名	作付種	作付面積	播種日	播種量	発芽確認	開花・出穂確認	収穫日	上下流	収穫量	合計	1m ² 当り収量
紫雲古津試験畠	シブシケフ (イナキビ)	8m ²	5月16日	10.0 g	6月2日 6月2日	8月17日開花	9月1日	下流側 上流側	40 g 70 g	110 g	13.75 g
	ムンチロ (アワ)	8m ²	5月16日	3.9 g	6月2日 6月2日	9月14日出穂	10月7日	下流側 上流側	230 g 117 g	247 g	43.38 g
	アントウキ (アズキ)	8m ²	5月16日	11.8 g	6月13日 6月2日	7月20日開花	9月1日	下流側 上流側	260 g 320 g	580 g	72.5 g
	ソンパ (ソバ)	8m ²	5月16日	12.4 g	5月24日 5月24日	7月20日開花	8月30日	下流側 上流側	190 g 170 g	360 g	45.0 g
豊糠試験畠	シブシケフ	8m ²	5月25日	12.6 g	6月7日 6月7日	8月11日出穂	9月1日	下流側 上流側	30 g 40 g	70 g	8.75 g
	ムンチロ	8m ²	5月25日	6.1 g	6月7日 6月7日	9月5日出穂	10月12日	下流側 上流側	51 g 24 g	75 g	9.38 g
	アントウキ	8m ²	5月25日	8.2 g	6月13日 6月13日	7月20日開花	9月1日	下流側 上流側	210 g 190 g	400 g	50.0 g
	ソンパ	8m ²	5月25日	25.5 g	5月31日 5月31日	7月7日開花	8月30日	下流側 上流側	50 g 80 g	130 g	16.25 g

豊糠試験畠
シブシケフ
の生育状況



紫雲古津
試験畠
シブシケフ
の生育状況

2) モニタリング調査

◆モニタリング・管理作業の記録のまとめ



モニタリング日 2011年8月4日(木)

配置図

播種月日 2011年5月16日

播種方法 /播種量

- シブケブ (イナキビ) =すじ蒔き/10 g
- ムンチロ (アワ) =すじ蒔き/3.9 g
- ソンバ (ソバ) =すじ蒔き/12.4 g
- アントウキ (アズキ) =点蒔き/11.8 g

生育状況

品種	下流側草丈	平均	生育状況
シブケブ (イナキビ)	大70cm	50cm	生え切れが多く、生育が遅れている。
ムンチロ (アワ)	大70cm	50cm	育は遅れているが、草丈は揃って
ソンバ (ソバ)	大80~110cm	平均50cm	生え切れがなく、生育良好、花の下が青い。
アントウキ (アズキ)	大16~30cm	20~35cm	下流側16~30cm 開花中で半数は実が付き、生育は順調である。上流側20~35cm 開花中で全数実が付いている(大きさ10cm)。下流側より少しい。

管理状況

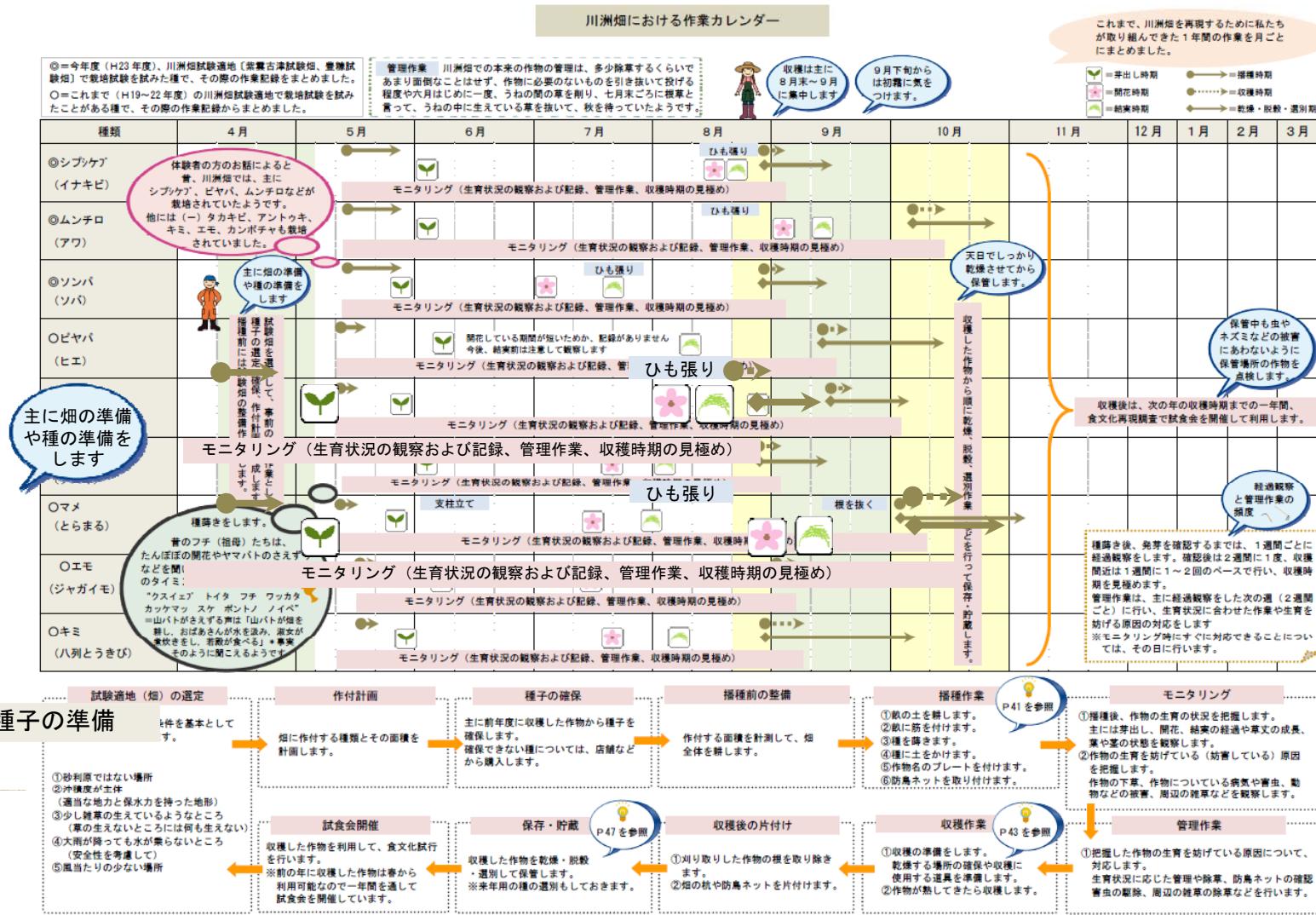
試験畠ごとにモニタリングや管理・整備作業の記録を整理



2) モニタリング調査

資料 E-⑤

◆川洲畠における作業カレンダー



3) 食文化再現調査

資料E-⑥

◆H23年度、試食会一覧

伝統的な食文化を再現するとともに、
今日風なアレンジも多様に試行した

開催日	調査内容	調査状況	メニュー	メニュー写真	感想	食文化試行レシピ記載ページ
8月3日	「スヌ（ヤナギ）、レックタウ（ヨブスマソウ）の釣り竿作成と鹿角針による漁法体験」に伴う食文化試行		・焼き干し		・屋外での焼き干しは、美味しかった。 ・焼けるまで時間がかかった。	※今後、レシピに追加する
9月12日	「食文化試行とニ風谷育苗畑での収穫体験」交流に伴う食文化試行調査		・ペカンベメシ（ヒシの実ご飯） ・豚軟骨の味噌汁 ・シト（団子） ・コロコニ（アキタブキ）の煮物 ・エモ（ジャガイモ）とマメ（マメ）の煮物 ・（一）モミジガサのめんつゆ漬け		・ペカンペは、クリのような美味しさだった。	P54、51、25、16、7、66
10月14日	貴気別中学校「校外学習」授業に伴う食文化試行調査		・ヤム、アハメシ（クリ、ツチマメご飯） ・シト ・豚軟骨の味噌汁 ・コロコニの煮物		・中学生と一緒に食事は良かった。 ・豚軟骨はとても柔らかく美味しかった。	P25、51、16 ※ヤム、アハメシは、今後レシピに追加する
10月26日	先住民族国際交流事業でのサミ民族との交流会に伴う食文化試行		・ペカンベメシ ・ユカオハウ（鹿汁） ・チボロスエモ（イクラをまぶしたジャガイモ） ・ブクサ（ギョウジャニンニク）の卵とじ ・ラタシケブ（混せ煮） ・サカンケ（干し肉）		・サミ民族の方は、あまりアイヌ料理が好みのようではなかった。	P54、69、42、50、70、18
11月8日	特別採捕に伴うシベ（シロザケ）の食文化の再現・試行調査		・シブシケブメシ（イナキビご飯） ・チエブオハウ（魚汁） ・アマチエブ（焼き魚） ・シベのホイル焼き ・チタタブ（めた・刻んだ物） ・チボロスエモ		・現代風にアレンジしたシベのホイル焼きは、好評だった。 ・チタタブは、手をつけない人が多かった。	P29、37、42 ※シブシケブメシは、今後、追加する ※チエブオハウ=P31を参照 ※アマチエブ=P5を参照

3) 食文化再現調査

資料E-⑦

◆食文化試行レシピ

ラタシケブ

～ 材料 ～

・カンボチャ	／ カボチャ
・シケレベ	／ キハダの実 100 g (乾燥)
・マメ	／ とらまる 400 g
・砂糖	適量

下処理 カンボチャは皮を剥きます

下処理 とらまるは一晩水に浸けます

シケレベ

下処理 シケレベは一晩水に浸けます

混ぜ煮

作り方

前日から水に浸けておいたとらまるは、軟らかくなるまで茹でて、ザルにあげておきます

皮を剥いたカンボチャは茹でます

カンボチャが軟らかくなったら、浸けておいた水を切ったシケレベをカンボチャの鍋の中へ入れます

次に一晩水に浸けたとらまるを鍋に入れます

10/26

H23年度

大きくかき回し、味をみてから砂糖を加えます

全体に大きく混ぜて出来上りです

●=聞き取り・○=文献情報

カンボチャ

○塙煮にしてそのまま食べたり、または小豆汁に塙を入れたものにかぼちゃの切ったものやシト（だんご）を入れてかぼちゃ汁粉にして食べる。また、ルメオハウ（ともに汁もの）、ラタシケブ（煮のもの）としても食べる。

ラタシケブには干したかぼちゃを用いるが、干しカンボチャはかぼちゃの皮をむいて二、三分の厚さに輪切りにし、わたをとってから棒に通してから棒に乾燥させたものである。三日月形にそぐように切って干すこともある。二斗樽に一ぐらいくつくる。うらなりや苦いものももつたないので乾燥させる。熟したかぼちゃは早く干せると、うらなりは乾燥しにくい。オンネフチ（祖母）はかぼちゃを肉と同じように大切にし、三十個以上のかぼちゃを干して家の中に入れておく。それでも冬期に凍れることがある。凍れたものは、ゆでてしばってラタシケブに用いる。【荻中美枝・細井朝子・藤村久和・吉原敏弘・村木美幸 1992年『日本の食生活全集 聞き書き アイヌの食事』P55 (社)農林漁村文化協会】

シケレベ

○きはだのことを北海道方言でしころの木といい、アイヌ語ではシケレベニといいます。秋になるとこの木の実（シケレベ）を多量に採取します。緑色をした実を青い跡らないうちにとて、細い糸で編むようにして下げて乾燥させ、貯えておきます。冬になるとコサヨ（粉粥）、あるいはシケレベラタシケブというものを作って食べました。シケレベラタシケブといいいうのは、いろいろなものを混ぜて煮たなかに、このシケレベを香辛料としてほんの少し（5人で食べるくらいの量を作るのに手のひらを僅ませた中に入れるくらい、約五十粒）入れたものです。【董野茂 1998年『アイヌの民具』P194 株式会社すずさわ書店】

70

調査結果とりまとめ

資料E-⑧

◆ 「川洲畠」再現マニュアルと試行のまとめ

沙流川総合開発事業の内 平取ダム地域文化調査業務

アイヌ文化環境保全対策調査 調査報告書

伝統的農法実験の試み

—「川洲畠」再現マニュアルと試行のまとめ—



3-生活文化現地調査（1）川洲畠現地調査

Ver.2011 試作版

調査結果とりまとめ

資料E-⑨

◆「川洲畠」再現マニュアルと試行のまとめ【目次】

項目の一つ
一つが成果

- ・川洲畠での調査にともなう作業工程
- ・川洲畠における作業カレンダー
- ・川洲畠でのこれまでの栽培試験種
- ・播種作業にともなう作業工程
- ・雑穀、穀物等の収穫の手順
- ・雑穀、穀物等の保存・貯蔵の手順
- ・川洲畠での畝きり・筋つけ作業
- ・川洲畠での播種作業
- ・ピパ（穂摘み用貝殻）でのイチャ（それ切る）
- ・生活文化に係る山菜採取カレンダー
- ・山菜の保存・貯蔵の手順

盛り込まれて
いる情報



調査結果とりまとめ

◆「川洲畠」再現マニュアルと試行のまとめ【一例抜粋】

川洲畠での歓きり・筋つけ作業

歓きりと筋つけ

* 基本は、跡く部分の土だけを歓らかくして種蒔きを行います。

2011年度、雪峰試験畠

①草の根をたたくように切り、切った根（草）は、深く掘らないよう、草だけ寄せるようにして歓を作ります。
②歓の土を歓らかくします。
③草削りの角を使い、後方に進みながら筋をつけます。筋をつける所は、踏まないように溝の底や深さは一定にします。
(この方法で跡くことを草削り跡きといいます)

2011年度、栄養山津試験畠

①耕で土を砕きながら、土を寄せて歓を作ります。その際、歓の土は横に崩さないようにします。（2011年度は、1cmの島歓にしました）
②草削りの角を使い、後方に進みながら歓の中央に筋を付けます。筋をつける所は、跡まないように溝の底や深さは一定にします。

* 2008年度の母種：川洲畠試験1と2では、本家の川洲畠に近い条件での育苗にも試みました。

①跡草後、レーキ（熊手）で土を平らになります。
②歓や足で筋つけを行います。

川洲畠での播種作業

種まきと土かけ

●筋まき…筋（溝）にそって1列ずつ跡く方法

◎このまき方の作物◎
シブケア（イナキビ）
ソンバ（ソリ）
ビヤバ（ヒエ）
ムンチロ（アリ）
一（タカキビ）

●点まき…一定の間隔で跡く方法

◎このまき方の作物◎
アントゥキ（アズキ）3、4粒
マメ（どらまる）3、4粒
キミ（くろむらとうきび）3、4粒
エモ（ジャガイモ）1個
* 1つの点に跡く数
*これまでに川洲畠で試験を行った種類

①歓に足を置き、筋をまたぎます。
②種を手に持ち、親指を動かしながら種をまきます。
③種を蒔きながら、跡の横の土をかかとを使い種の上に軽くかけます。

川洲畠試験畠での作業の際に活用できます

まとめ

川洲畠や往時の生活環境等についてのまとめ



★これらの成果を今年度以降も
継続的に蓄積しながら拡充・
活用していく

普及のあり方を
提示することを
意識したまとめ
をした

伝統的農法実験の試み -「川洲畠」再現マニュアルと試行のまとめ



3-生活文化現地調査（1）川洲畠現地調査

Ver.2011 試作版

食文化試行レシピ

3-生活文化現地調査（1）川洲畠現地調査

食文化再現調査

Ver.2011

試作版

伝統的生活文化と
過去の自然・文化
環境について効果
的な調査ができた

第13回 平取ダム地域文化保全対策検討会

＜平成23年度 調査成果概況＞

◆4 地域文化保全対策調査

2012 (H24) -07-27
アイヌ文化環境保全調査室

概況・要点の説明とその資料

1) 保全対策試行調査

- ・資料F-① H23年度、試行調査一覧表
- ・資料F-② 学校教育分野での試行【概要】
- ・資料F-③ 学校教育分野での試行【プログラムの作成】
- ・資料F-④ 学校教育分野での試行【視聴覚資料作成とその活用】
- ・資料F-⑤ 各分野における成果活用の試行【概要】
- ・資料F-⑥ 各分野における成果活用の試行【2、5分野での試行】
- ・資料F-⑦ 各分野における成果活用の試行【作成資料とその活用】
- ・資料F-⑧ コミュニティとの広がりでの試行【概要】
- ・資料F-⑨ コミュニティとの広がりでの試行【作成資料とその活用】

2) 意向調査

- ・資料F-⑩ 貫気別中学校社会科[歴史]特別授業後の意見・感想

3) 地域文化保全対策プログラム作成

- ・資料F-⑪ プログラム作成の流れ

●まとめ・資料F-⑫

①保全対策試行調査

◆H23年度、試行調査一覧表

●=調査室が作成 △=調査室が一部作成 ×=主に主催者側が作成 ○=意向調査実施 —=意向調査未実施

	調査内容	実施日	対象	実施箇所 (使用施設も含む)	プログラム	調査成果を活用して作成した資料		意向把握 (意見・感想) (アンケート等)	◇取り組みの特徴◇
						紙資料 (パンフレット含)	コンテンツ (パワーポイントによるスライド画面)		
学校教育分野での試行	平取町立貫気別中学校 1年生社会科[歴史]特別授業	8/24	貫気別中学校1年生	平取町立貫気別中学校	●	●	●	○	◇昨年度（H22年度）までの2年間での取り組みで積み重ねた成果を基礎として試行調査を実施した。
	平取町立貫気別中学校 1年生[校外学習]授業	10/13	貫気別中学校1年生	平取町アイヌ文化情報センター (調査室：育苗畠1) (萱野茂二風谷アイヌ資料館) (平取地域イオル再生事業による復元チセ=ボロチセ、一号チセ)	●	●	●	○	◇貫気別中学校での「総合的な学習」の時間の「校外学習」としてアイヌ文化に興味を持った生徒からの依頼を受け、試行調査を行った。アイヌ文化情報センターを始め、近隣の施設等も活用し、関係機関や他分野との連携を図った。
各分野での試行	3-生活文化現地調査(1)川洲畑現地調査での試行 ○豊穂試験畑での播種作業	5/25	北海道開発局室蘭開発建設部 沙流川ダム建設事業所職員	豊穂試験畑	●	●	×	○	◇3-（1）川洲畑現地調査での取り組みの中での成果を活用し、協力者の方々と沙流川ダム建設事業所との協同による試行調査を実施した。
	3-生活文化現地調査(1)川洲畑現地調査での試行 ○食文化試行とニ風谷育苗畠2での収穫体験	9/8	北海道開発局室蘭開発建設部 沙流川ダム建設事業所職員	ニ風谷育苗畠2	●	●	×	○	◇3-（1）川洲畑現地調査での取り組みの中での沙流川ダム建設事業所職員との協同による試行調査を実施した。食文化再現調査での試食会、育苗畠2の位置づけについて解説し、他分野との連携を図った。
	2-生物の生存環境調査、5-有用植物栽培試験及びモニタリング調査 ○NHK野外講座「辻井達一先生の植物百科-びらとり紀行-」	6/8	一般 (主に札幌市民)	平取町 芽生すずらん群生地 多様な木本・草本類の保全 モデル地区-2 : S-05 平取町立ニ風谷アイヌ文化博物館 調査室：育苗畠1	△	●	×	○	◇他分野との連携を図り、調査区域（平取ダム建設予定地周辺）を中心にニ風谷地区において主張的な取り組みでの試行調査を実施した。
	3-(2)伝統的漁法調査 ○アイヌ文化技能伝承講座「川魚獲りと加工法」	7/10	町民	ニセウ川、ニセウ園	×	×	×	—	◇3-（2）伝統的漁法についての調査での成果を活用し、町民の方々を対象に伝統的な漁具を使用した試行調査を実施した。
	3-(2)伝統的漁法についての調査 ○ススキ(ヤナギ)、レックッタラ(ヨブスマソウ)の釣り竿作成と鹿角針による漁法体験	8/3	北海道開発局室蘭開発建設部 沙流川ダム建設事業所職員	額平川支流の宿主別川とその周辺	●	×	×	—	◇3-（2）伝統的漁法についての調査での成果を活用し、沙流川ダム建設事業所職員を対象に伝統的な漁具を使用した試行調査を実施した。
	豊かな川と親しみ学ぶ 「沙流川親子教室」	8/20	一般 (小学校1~6年生、中学生の親子)	沙流川支流のニセウ川とその周辺	×	△	×	—	◇地域の活動団体の活動に参加し、これまでの成果を活用し、主に一般を対象とした試行調査を実施した。
アイヌ文化関係諸活動団体との協同による試行	第42回チブサンケ(舟下ろし祭) 本祭 ○ウトムヌカラ(結婚する)	8/21	一般	平取町立ニ風谷アイヌ文化博物館 敷地内ボロチセ	●	●	×	—	◇アイヌ文化に携わる地域の活動において、資料の提供と作成、活動の記録等を行った。
	北海道大学サステナビリティ・ Wiーク2011 国際シンポジウム	11/2	一般 (主に研究者)	札幌：北海道大学 学術交流会館小講堂	×	●	●	—	◇北海道大学主催の国際的な会議の場において、調査室の成果を活かした報告を行った。

①保全対策試行調査

資料F-②

◆学校教育分野での試行【概要】

貴気別中学校では
計2回の試行

1年生 社会科【歴史】特別授業

プログラムの実施状況

はじめに				
授業前の準備作業	①平取の位置・アクセス、ニ風谷のミュージアム群の紹介⇒②私たちの調査・研究、活動の拠点⇒	②アイヌ文化情報センター紹介		
1-それぞれの歴史				
2-交易の歴史とアオトラの石器				
3-身近な地域の文化				
まとめ				
	授業前の準備作業⇒①平取の位置・アクセス、ニ風谷のミュージアム群の紹介⇒②私たちの調査・研究、活動の拠点⇒	②アイヌ文化情報センター紹介		
	近隣の町の歴史⇒	平取町の歴史⇒	平取町の歴史⇒	身近な地域の歴史
	①アイヌの人たちの交易品⇒	②交易の跡とアオトラ石の流通について⇒	体験：アオトラの石斧⇒	③額平産アオトラの石器による丸木舟づくり
	①身近な地域の風景から⇒	①身近な地域の風景から⇒	②身近な地域のアイヌ語地名⇒	④地域に語り継がれている物語
	授業のまとめ・感想⇒	授業のふりかえり⇒	学習ノート（意見・感想など）⇒	意見交換を通しての意向把握

1年生「総合的な学習の時間」校外学習授業

プログラムの実施状況

準備から開始までの流れ				
授業前の準備⇒				
授業（食文化試行）準備⇒				
授業開始の挨拶⇒				
今日の流れの説明⇒				
1どのように食料を探っていたのか				
2料理していたのか				
3どんな服装をしていたのか				
4帽子や手袋の小物はあったのか				
5どんな生活を送っていたのか				
6家の中にはどんなものががあったのか				
チセ（家）にて漁具・漁法の説明⇒				
作成したスライド画面での漁具・漁法の説明⇒				
シト（団子）作り体験⇒				
アハ（ヤブマメ）掘り体験⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				
衣服について説明⇒				
アツウシカラベ（機縫り機）見学⇒カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）の試着体験⇒				

◆学校教育分野での試行【プログラムの作成】



伝統的漁法や漁具についての紹介



アハ（ヤブマメ）堀り体験



シト（団子）調理体験

●プログラムの内容				
実施日：2011年10月14日（金） 時間：10:00～14:45／場所：平取町アイヌ文化情報センター／生徒数：1名 参観教員：1～3名（時間交代）				
【学習内容】 アイヌ文化についての調査				
【学習項目】 1-アイヌの人たちはどうやって食糧をとっていたのか 2-食糧をどうやって料理していたのか 3-アイヌの人たちは、どんな服装をしていたのか 4-帽子や手袋などの小物はあったのか 5-アイヌの人たちはどんな生活を送っていたのか 6-家の中にはどういう物が置いてあるのか				
時間	流れ／項目	内容	活用教材など	具体的な説明など
到着～9:00 (60分)	1-アイヌの人たちはどうやって食糧をとっていたのか 【担当：平村】	①伝統的漁法や漁具を紹介 ②山菜、雑穀等を紹介	3-（2）伝統的漁法調査で作成した漁具（イオル復元1号チセで展示している漁具） 【パワーポイント】 調査記録写真 図書資料	・3-（2）伝統的漁法調査担当者に依頼⇒漁具の使用方法について説明 【アフ（肉針）、マレフ（絃・回転錘・自在錘）、ヤバヤ（すくい網）など】 どんな魚が獲れるのかも説明 見学した漁具をスライド画面で復習 ・ブクサ（ギョウジャニンニク）、ブクサキナ（ニリンソウ）、ココニ（アキタブキ）、シブケブ（イナキビ）を写真で紹介し、私たちも現在、食材として採用していることを説明 ・メニューに使用している山菜や雑穀を説明 ・シト作りの工程のシド・シケフを粉にする作業を生活用具を使用して体験し、こねる作業も体験 指導しながら調理工程について説明 ・5-有用植物栽培試験及びモニタリング調査担当者に依頼⇒青苔煙1で生育しているアハ掘りの工程を説明
10:00～10:30 (30分)	2-食糧をどうやって料理していたのか 【担当：村木】	①本日の食文化試行メニューを紹介 ②シト（団子）調理体験 ③アハ（ヤブマメ）掘り体験	【パワーポイント】 食文化試行レシピ 3-（1）川洲畠現地調査で収穫したシブケブ（イナキビ） サマッキニス（根豆） ボンイユタナ（小さい井） 青苔煙1で栽培しているアハ	・写真でアットウの素材となるアッニ（オヒヨウの木）の部位や剥ぎから乾燥までの工程を説明 ・アットウシカラベ（根織り機）の工程を説明 ・アットウシカラベアットウシの工程について説明 ・アットウシカラベアットウシの工程を説明 ・アットウシカラベアットウシの工程について説明
10:30～11:00 (30分)	3-アイヌの人たちは、どんな服装をしていたのか 【担当：平村、村木】	①アットウシ（オヒヨウの木の皮の縫物・着物）の紹介 ②アットウシカラベ（根織り機）体験 ③アットウシ、カバリミ（切り伏せ刺繡した単衣の着物）試着体験	【パワーポイント】 調査記録写真 図書資料 アットウシカラベ（根織り機） カバリミ、アットウシ	・写真でアットウシの素材となるアッニ（オヒヨウの木）の部位や剥ぎから乾燥までの工程を説明 ・アットウシカラベアットウシの工程を説明 ・アットウシカラベアットウシの工程について説明
11:00～11:30 (30分)	4-帽子や手袋などの小物はあったのか 【担当：木村】	①生活用具（装飾品）の紹介 ②工芸館見学	【パワーポイント】 図書資料 アイヌ文化情報センター工芸館 （販売している工芸品）	・図でアイヌの人たちが身に付けていた衣服類を写真で説明 ・工芸館で販売している装飾品を実際に見たり、触りながら用途を説明
11:30～12:00 (30分)	5-アイヌの人たちはどんな生活を送っていたのか 【担当：木村】	①アイヌの人たちの生活のようすを紹介 ②墓食メニューの素材の紹介	【パワーポイント】 調査記録写真 図書資料 作成した年表 3-（2）伝統的漁法調査で獲って焼き干した魚 3-（1）川洲畠現地調査で収穫した穀物	・一日の仕事、一年の仕事の流れを年表で紹介し、年表に記載されている事柄を図や調査記録写真で説明 ・収穫した穀物を活用して料理の素材を説明 ・墓食メニューの説明
12:00～13:00 (60分)	墓食（食文化試行） 【担当：木村】	①伝統的料理の試食体験	【パワーポイント】 3-（1）川洲畠現地調査で収穫した穀物・食文化再現調査のレシピ	・図に記載されている生活用具などを説明 ・展示品の解説⇒資料館館長に依頼 ・資料館敷地内のチセでのアットウシの見学 ・資料館敷地内のイユタナ（バッタリ：精米用具）、アフ（足高倉）の説明 ・ポロチセ（大きい家）内の展示物の説明とトマ（ゴザ）編みを見学
13:00～14:30 (90分)	6-家の中にはどういう物が置いてあるのか 【担当：木村】	①チセ（家）の中のようすを紹介 ②チセ見学	【パワーポイント】 調査記録写真 図書資料 萱野茂二風谷アイヌ資料館 平取地域イオル再生事業で復元されたチセ（家）	
14:30～ (15分)	全体を通しての質問など 【担当：全員】			

アイヌ文化情報センター
工芸館見学

萱野茂二風谷アイヌ資料館見学

平取地域イオル再生事業
ポロチセ見学

◆学校教育分野での試行

【視聴覚資料作成とその活用】

アイヌ文化情報センター内での
視聴覚資料を活用した授業のようす



☆活用方法を提示

スライド17
私たちも現在、食材として採取し、利用していることを説明。
それでのメニューでどのような食材が使用されているのかを紹介。

スライド18
実際にシト作りの工程を体験。
2-生物の生存環境保全
種類と5-有用植物栽培
試験及びモニタリング調査担当者の協力を得た。

スライド19
ヨーハイの入たちは、どんな服装をしていたのか
活用後、項目のタイトルを追加

スライド20
アットウシ
(オヒョウの木の皮の植物・着物)

スライド1
アットウラ
(オヒョウの木の皮の植物・着物)
本真でアットウラを紹介。

スライド22
既存の調査成果
(記録写真)を教材として活用。
アットウラの素材となるアニ(オヒョウの木)の利用部位や特徴を説明。

スライド23
ヨーハイの入たちはどんな服装をしていたのか
①アットウシ (オヒョウの木の皮の植物・着物)の紹介
スライド24
アットウラ
(オヒョウの木の皮の植物・着物)
4-帽子や手袋などの小物はあったのか
活用後、項目のタイトルを追加

スライド25
図書資料の図を活用し、図で身につけている装飾品を紹介。
テシマ(歌舞用かんじき)、ユケリ(鹿皮の靴)、ユウタ(鹿皮の衣)、ホシ(綿靴・きはん)

スライド26
図で説明した後、アイヌ文化情報センター内の工芸館を見学、展示・販売されている工芸品を観たり、実際に触れたりしながら、用途を説明。

スライド27
ヨーハイの入たちはどんな生活を送っていたのか
スライド28
二風谷の一年
~アイヌの人たちの暮らし~
年表に記載されている事実を図や調査結果写真で説明。

スライド29
アイヌの人たちの一日の仕事や一年の仕事の流れを紹介。
春
バイカラ(春)

スライド30
因書資料の図を活用。
分かりやすく季節ごとに紹介。

スライド31
既存の調査成果
(記録写真)を教材として活用。
穴熊漁とは、どのような方法の異なるのかを説明。

スライド32
既存の調査成果
(記録写真)を教材として活用。
春に採取できる山菜の種類や収穫方法、山菜採取時の心がまえを説明。
川漁業での漁獲
こしと獲まきについて紹介。

①保全対策試行調査

資料F-⑤

◆各分野における成果活用の試行【概要】

2-生物の生存環境現地調査

3 (1) 川洲畑現地調査

3 (2) 伝統的漁法についての調査

有用植物保全モデル地区S-05
での取り組みや植物の紹介

ピパ（穂摘み用貝殻）での
収穫体験

伝統的漁法の体験

5-有用植物移植試験及び
モニタリング調査

3 (1) 川洲畑現地調査
(食文化再現調査)

1-精神文化保全対策に関する調査
3 (1) 川洲畑現地調査



育苗畑1、2での取り組み
や植物の紹介



収穫物を利用した食文化試行



儀礼と播種体験

◆2-生物の生存環境現地調査 5-有用植物移植試験及びモニタリング調査での試行



すずらん群生地見学

S-05区域までのルート沿いの
植物の説明スポット1、2水辺空間の
植物の説明

プログラム内容		
NHK野外講座 「辻井達一先生の植物百科」 —びらとり紀行—		
実施日：6月8日（水）		
時間：12:00～15:00		
参加者【NHK文化センター新さっぽろ教室】 45名	【調査室】 10名	
時間	進行	内容
8:00	新さっぽろ発	
9:45	アイヌ文化情報センター到着	
9:50	アイヌ文化情報センター出発	バスへ乗車
↓ ↓		車中説明 *パンフレット、アンケート配布
10:30	芽生すずらん群生地 到着	
↓	すずらん鑑賞	参加者と同行
11:15	芽生すずらん群生地出発	
↓ ↓		徒步で参加者を誘導し、道路沿いの有用植物について説明
11:40	多様な木本・草本類の保全モデル 地区-2：S-05 到着	
↓	S-05 見学	スポット1、2水辺空間周辺の説明
1:00	食文化試行（昼食）	食文化試行メニューの説明 メニューの材料となるスポットの草本の説明
12:50	S-05 見学	スポットごとの説明
13:15	多様な木本・草本類の保全モデル 地区-2：S-05 出発	徒步で移動し、バスへ乗車
↓		車中説明
14:20	二風谷アイヌ文化博物館 見学	展示物の解説など
14:50	育苗畠1 見学	成り立ちやレイアウトなどの説明
15:45	アイヌ文化情報センター出発	
17:30	新さっぽろ到着	

S-05区域での昼食
(食文化試行)S-05区域見学
(スポットごとの説明)育苗畠1見学
(成り立ちや植物の説明)

【作成した資料とその活用】

資料 F-7

すずらん群生地～S-05区域～二風谷地区における有用植物栽培試験の紹介

①保全対策試行調査

資料F-⑧

◆コミュニティ（地域・民族）との広がりでの試行【概要】

豊かな川と親しみ遊ぶ
沙流川親子教室



アイヌ語地名パンフレット
を活用



シノッポンク（遊びの小弓）
カリペペカ（輪差し）の体験

北海道大学サスティナビティ・ウィーク2011
国際シンポジウム「先住民族と教育」



生活に根差した精神文化の継承
1、3(1)、3(2)分野の
成果を活用



植物保全整備計画の作成と着手
2、5分野の成果を活用



学校との連携による教育普及活動
4分野の成果を活用

第42回チアサンケ（舟下ろし祭）
でのウトムヌカラ（結婚する）



情報の提供と資料作成

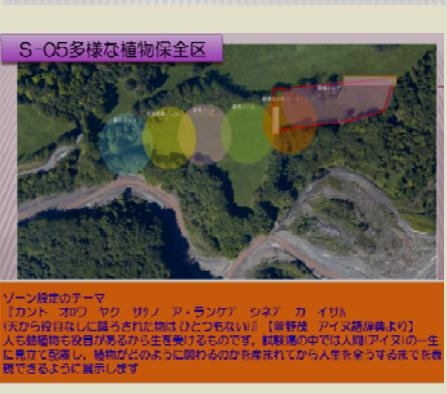
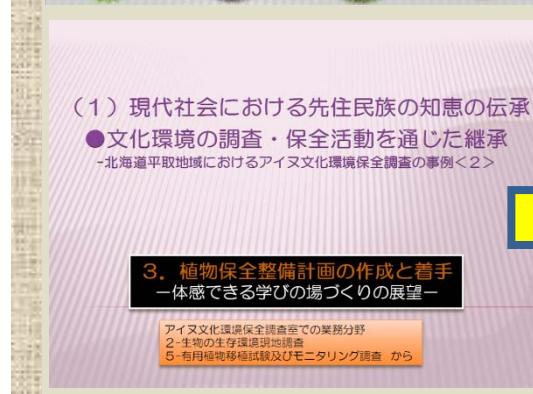
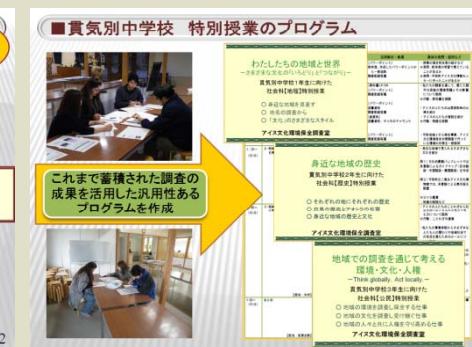
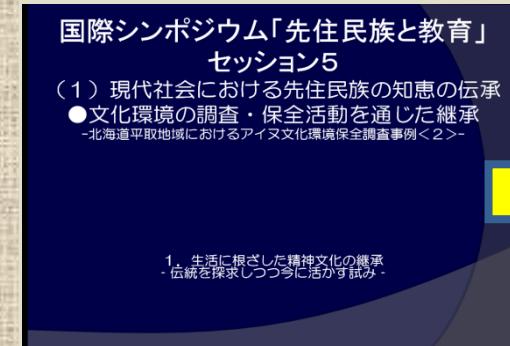
【作成した資料とその活用】

◆北海道大学サスティナビリティ・シンポジウム2011

国際シンポジウム「先住民族と教育」

(1) 現代社会における先住民族の知恵の伝承

☆さまざまな分野の情報を活用



②意向調査

資料 F-10

【貴気別中学校1年生社会科[歴史]特別授業後の意見・感想】

生徒からの意見・感想（生徒数：4名） 参観教員からの授業後の意見・感想（参観教員：2名）	
<p>『授業中メモ』 授業中わかつたことを書こう</p> <p><u><1-それぞれの地にそれぞれの歴史></u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャクシャインはアイヌの人のリーダー。 ・1669年に『シャクシャインの戦い』があった。 <p><u><2-交易の歴史とアオトラの石器></u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アオトラ石で丸木舟を作れてすごいと思う。 ・アオトラ石は、硬くて、じょうぶな石ということがわかった。 ・アオトラは平取でしかとれない。 ・平取町でしか取れない青トラの石が青森県にあってすごいと思いました。 <p><u><3-身近な地域の歴史と文化></u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角山を知った。 ・平取町でしかとれない石が三内丸山遺跡にあった。 ・平取は、崖（ピラ）が多い。 ・アイヌの歌があることがわかった。 ・平取には遺跡がたくさんある。 ・ピラは崖っていう意味。 <p>『授業を終えて』 授業の感想や意見を自由に書こう</p> <p><u><1-それぞれの地にそれぞれの歴史></u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャクシャインが、アイヌの人のために、和解しに行ったのに、殺してしまうなんてひどいと思った。 ・アイヌの人たちの歴史や文化が知れて良かったです。 <p><u><2-交易の歴史とアオトラの石器></u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アオトラの石器は、本州と交換をしていた事がわかった。 ・アオトラって、色々使えるんだと思った。 <p><u><3-身近な地域の歴史と文化></u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平取は、遺跡の宝庫と呼ばれていてとてもすごいと思った。 <p><u><全体を通して></u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・とっても丁寧な説明だったし、聞いていて面白いなと思いました。 ・アイヌの人たちの歴史や文化が知れて良かったです。 ・平取の事を初めて知ったのがたくさんあって、勉強になってよかったです。 	<p>【授業を参観した教員の方からの授業への感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日、気付いたが北海道には「平(ひら)」地名が少ない。小平(おひら)、小平(こひら)、豊平。やっぱり、「ナイ」と「ペッ」が圧倒的に多い。稚内、芦別。北海道をいろいろ回っているが「平」は少ないと見ていた。 ・地名はピックアップしていくと楽しいが、結構、いろいろな知識がないと難しい。アイヌ語地名に限らず、地名はある程度、年がいかないと面白さが分からぬのかもしれない。 ・改めて「本当に三角だった」というのを見ながらの三角山の説明は良かったと思う。 ・<u>アオトラの石斧への興味・関心度も男女差はあると思った。</u> ・社会（世の中の動き）に関しては、男女差もあるが個人差や学年差、その年の反応もある。1年生なので発想がまだ柔軟ではないと感じた。 ・<u>アオトラのことに関しては、子供たちは感動している様子だった。</u>言われて「ああ、そなんだ」と気付いてはいると思う。 ・三内丸山遺跡と平取の地理的な距離感も全然、分かっていないようだった。三内丸山遺跡に行って初めて分かることや授業を3年間受けて初めて分かることだと思う。 ・シャクシャインの説明が噛み砕いていたので分かりやすかった。（小学校の副読本に載っていると思うが、その副読本を見て、きちんと説明が出来る社会が専門ではない先生が、どのくらい町内にいるのかという点で、分かりやすかった） ・<u>これまでの集大成として内容が盛りだくさんだったと思うが、素材としては揃って来たと思う。この3年間でかなり洗練されて来ている。</u> <p>【授業を参観した教員の方から今後の授業に向けての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>今年度で貴気別中学校が閉校になってしまいが、せっかく新しい形が出来て来て、もったいないという感じがする。</u> ・生徒に意見感想を書かせる場合、書く時間を取り、今の内容の半分ぐらいにして調べる時間なども与えると良いと思う。書く時間を与える場合は、授業の内容の量を減らさないといけない。 ・<u>私たち調査室というのは、このような仕事をしていますと言うのも教科の勉強ではないけれども、生き方とか考え方とか、伝えることは凄く大事なことだと思う。</u> ・アオトラの石斧の授業を特化するならば、実際に作ってみたり、石を探しに行ったりして夏休みの集中授業としても考えられる。山に行って石を見たり、地形や地質を見たり、植物を見たりすることによって、内容の濃いものになると思う。その前に入門編として今日のような内容が考えられる。 ・時間が許されるのであれば、1つ1つを詳しくとか、2時間ずつとか、出来れば最高だと思う。 ・アオトラ体験とか、イベントと言ったら軽くなってしまうかもしれないが、夏休みの2日間とかで企画してみるのもいいと思う。 ・いろいろな素材の中で集約して出来るような機会があればいいと思う。 ・学校教育もあるが、生涯学習の中で体験活動という方法もある。 ・大人は体を動かすより、地名が面白いという人もいると思う。

③地域文化保全対策プログラム作成

資料 F-11

試行調査⇒意向調査⇒資料の修正、解説した内容を整理⇒プログラム化する

資料作成

「植物園」のネットワークを目指した取り組み



平成19年度アイヌ文化環境保全調査

試行した内容を整理 (プログラム化)

②2-生物の生存環境調査、5-有用

プログラム内容	
NHK野外講座 「井辻一先生の博物百科」 —ひらと記行—	
実施日 6月8日(水) 時間 12:00~15:00	
参加者 [NHK文化センター新さっぽろ教室] 45名	[調査室] 10名
時間	内容
9:00 新さっぽろ到着	
9:40 アイヌ文化情報センター到着	
9:50 アイヌ文化情報センター発券	バスへ乗車
10:00	車内説明 4枚パネル、アンケート配布
10:30 乗生すばらん野生地 別営	
1 すばらん山脈	参加者と同行
11:15 乗生すばらん野生地出発	
1 1	歩行で移動し、バスへ乗車。 ついで説明
11:40 多様な木々・草本植物の保全モデル地区2・S-5 到着	
1 S-5 見学	スポット1、2、木立空間庭園の説明
1 食文化試験場(食農)	食文化試験場二つの説明 メニューの説明 食農の説明
12:50 S-6 見学	スポット2との説明
13:15 多様な木々・草本植物の保全モデル地区2・S-3 到着	歩行で移動し、バスへ乗車。
1	車内説明
14:20 二風谷アイヌ文化博物館 見学	展示品の説明など
14:30 両音貝壳 見学	成り立ちやレイアウトなどの説明
14:45 アイヌ文化情報センター発券	
17:30 新さっぽろ到着	

試行調査



意向調查

肥後の森向のでの工建設部は、次年度以降の試行横断での取り組みでの今後の課題としてP20に記載し、検討作業を行っています。



資料の修正



修正前



まとめ

資料F-12



★学校教育を含め、アイヌ文化普及・啓発の実践で独自・最新の知見を活かしながら（文化継承＆調査保全の）担い手自らが行う効果的なスタイルを新たに確立しつつある

